

令和3年度 第1回三条市公立大学法人評価委員会 会議録（概要）

1 日 時 令和3年4月26日（月）午後2時～3時

2 場 所 三条市立大学 4階 ミーティングルーム3

3 出席者

委 員 和田裕委員長

山口隆司 勝見悦行 清水善廣(オンライン) 清水希容子(オンライン)

三条市立大学 アハメド・シャハリアル学長 坂田和浩事務局長 小林一裕総務課長

島田哲雄理事

三条市 小林和幸行政課長 藤塚誠一庶務係長 赤川俊範主任

4 議 事

(1) 三条市立大学中期計画（案）について

(2) 役員に対する報酬及び退職手当支給基準について

(3) その他

5 議会概要

(1) 三条市立大学中期計画（案）について

坂田事務局長 （資料に基づき実施計画（案）の内容を説明）

和田委員長 中期計画の目標が決まっていますので、その目標を達成するために、具体的にどうするのか、目標がスライドして、そのまま計画になっているようではまずい。そういう目で見ていただけたら良いかと思います。

山口委員 細かいところいいですか。1ページ、第2教育研究等の質の向上に関する事項、(1)、専門教育の充実、ア、複合的な領域の教育、マネジメント「系」科目、どの科目がマネジメント系科目なのか。大学の案内にはあるが、ホームページで見た感じすぐ出てこない。5ページの収支計画、2、R3～8、単年度。

坂田事務局長 5年間の基幹計です。

山口委員 予算もですか。

坂田事務局長 そうです。

山口委員 マイナス2,900万円となっているが、損益の考え方はどうなのか。

坂田事務局長 マイナスです。

山口委員 8ページ、成果指標、2の研究指標、No. 5、6の目標値、15件は大学として15件か。教員の学位授与機構の審査がある。対応すると、5年で教員一人当たり2件という目標があり、平均すると3件になる。個人に当てはめて良いのかどうか。つまり、一人当たり3件と当てはめると、学位授与で達成されない教員がいる。

3、地域貢献指標のNo. 9、技術支援実施件数、目標値2件の技術相談はどうなるのか。

こちらの大学の感じからすると、もうちょっと自然と多くなっても良いのかなと思う。技術相談は支援に入るのか？入れると数字を積めるのかなと思う。

No. 10 の市民公開講座や大学解放イベントなどの開催件数、目標値 2 回以上についての考えはどうか。

坂田事務局長 件数である。回数ではない。

山口委員 5 の業務運営の改善及び効率化、No. 14 の FD・SD に関する取組件数について、科研の申請や文科省関係の申請を行うときに、年間一人一個は受けてくださいというのがあったが、人数縛り、開催回数で縛るのか。これは一人当たりの人数にまで及ぶようにすると良いと思う。受けていないと申請できませんよというのがあると思う。

和田委員長 精査していただくと良いと思う。

質問。成果指標で、達成年度と年の件数について、完成年度以降に一年に 15 件あれば良い。完成年度までは無くても良い。こういうことで良いですか。

坂田事務局長 実際ゼロということは無い。徐々に上げていかなければならないということもあり、完成年度以降と記載させていただいた。

和田委員長 それまでは件数が少なくても問わなくて良いのか。

坂田事務局長 この段階で 15 件以上になる様子に書かせていただいた。

和田委員長 予備審査の 5 から 6 年のところで件数達成が見られると。今年の夏とか、次年度の夏とか、年度毎のものはないか。

坂田事務局長 年度計画の中では若干触れたいと思う。実際数値目標として来年度どこに設定するかは、まず一年やってみてその後設定していきたい。

山口委員 最終年度はそれで良いんですけど、あまり少ないと、達成できない先生がいると、その先生の研究室では 5 年後に先生が足りませんとは普通やっていると知らないですが。最終年度だけだとちょっと心配だとは思いますが。どこで確認されるかだと思います。

和田委員長 ありがとうございます。文言の統一ですとか、御検討願えればと思います。他にありませんか。

勝見委員 いわゆる一般経費というのはランニングコストのことで、6 年で一月当たり 650 万円前後かかるということですか。

和田委員長 一般管理費については先ほども出ました。マイナス 2,900 万円について御説明願います。

坂田事務局長 予算の中で人件費を見ていますが、退職金は見えていません。収支計画の中では退職金を見込んだ引当金を計上しています。

役員人件費 780 万円、教員人件費 1,500 万円、職員人件費 680 万円を計上しています。

これによる引当金で若干のマイナスを計上しています。これを計算するに当たっては、トーマツ監査法人に相談し、どのような計上をすべきか進めました。

山口委員 今、大学に対して経営基盤を強化してくださいという流れがある中で、最初からマイナス 2,900 万円というので、実際に掛かったらどうするのですか。市の予算なので必ず最後はマイナスにしないといけないのでしょうか。

坂田事務局長 収支予算を説明させていただくと、まず収入見込額は、学生からの納付金、

三条市からの運営費交付金を考えていまして、運営費交付金の額は学生数に応じた当然措置される額になっております。初年度、R2年度につきましては、若干足りないという状況がございまして、それにつきましては、短期の借入を起こそうと考えております。予算の中にあります短期借入金収入、償還金で書かせていただきまして、借入れをして返済するとさせていただきます。

和田委員長 万一、マイナスになっても対応するということです。

山口委員 これが次の5年になってくると借入を返すのでプラスになっていくということでしょうか。

坂田事務局長 そういうことです。

和田委員長 後、気になるのが、困窮世帯に対する授業料の免除があるのですが、それ自身は、大学が負担するのか、市が補助金として負担してくれるのか。かなり大きな額になってくると思いますが、それはどうなっていますか。

坂田事務局長 修学支援新制度、大学の無償化制度ですが、収入の部の学生からの納付金が減る形になる分につきましては、三条市から補助金としていただく。三条市としても、補助金分につきましては交付税措置されるので、三条市の負担は発生しない。必要経費2,000万円も、三条市から補助金としてもらう形になります。

和田委員長 基本的には交付税が2種類あるが、真水で来るという形で約束されるということですか。

坂田事務局長 そうです。

和田委員長 他の委員さん、清水(義)委員さんはどうですか。

清水(善)委員 今御説明のありました中期計画、前回議論いたしました中期目標に照らし合わせて、反映した内容になって良くまとまっております。2点質問があります。

1 ページの第2教育研究等の質の向上に関する事項、(1)、専門教育の充実、ウの時代の変化への柔軟な対応とありますが、往々にして、事業計画が決まって予算が動き始めると、なかなか計画の中身を変えるのは難しいというのが常です。やっぱり、柔軟な対応が重要でありますので、具体的にこれに対応するためにどのような計画を考えてらっしゃるのか1点目としてお聞かせ願います。

坂田事務局長 産業界、消費者等のニーズを的確に捉えというところですけども、こういったことは是非していかなければいけないだろうということで、大学設立認可申請にも書かせていただいたんですけども、大学運営会議というものを大学内部に設けまして、会議の中で、外部の有識者を招へいし、いろいろな専門家の方をお呼びしてヒアリングしてニーズを把握できないかということを考えています。

清水(善)委員 理解しました。2点目の質問です。

産学連携実習の充実について、一般的にどこの大学も産学連携を掲げていますが、なかなか実習をカリキュラムの中に入れていないところがあるので本当にユニークな取組であると思います。そういう意味で三条市から愛される三条市立大学ということで、この産学連携実習というのは特徴のあるところで、是非とも充実させていただきたいと思っています。また産学連携実習の場合、企業側のニーズと、大学側のシーズの一致が難しいという

ことで、どこの大学でも苦勞されているところです。これに対してどう考えているのか、教えてください。

シャハリアル学長 大学の中に産学連携キャリアセンターを設けており、これから私たちは地域の企業に対して、調査してまいりたいと思っております。基本的に、表に出ている企業のニーズに合わせて、潜在的なところまでも深堀りできればいいなと思っておりますけれども、その調査を基にして、まず企業が、どういう状況にあって、何が可能で何が不可能なものか、何が求められているのか、表面的なもの、潜在的なもので違いがあることが見えてきているので、客観的に把握したいと思っております。その上で、私たちの大学のシーズが表面的な、また潜在的なニーズにどのように適応するか。小さい大学ですので、私たちの専門性にも限りがあるので、場合によっては外の専門家も入れてマッチングに関わりたいと思っております。多分、大学では抱えきれない部分も出てくると思いますので、三条市役所もそういうところをバックアップしたいという話も始まっているので、すぐではないのですが時間をかけて図っていきたいと思います。まずは調査からです。

清水(善)委員 理解しました。是非とも成功してもらいたいと思います。そういうところが三条市立大学らしいところかと思えます。期待しております。

希望ですけど、収入の計画案で、たぶんあまり問題ないのかと拝見しております。4ページの受託研究費がゼロということなんですけれども、研究で稼ぐのが本来の目的ではないと思いますので、結果として、ここが大きな数字になることが三条市立大学の評価にもつながると思っておりますので、大きな数字になるような運営をしていただければありがたいと思います。

和田委員長 リサーチをする担当が、どの先生がどういった認識とか視座をもっておられるのか把握していて、それにより技術を持っておられる人を雇うというのは考えていますか。

シャハリアル学長 フルタイムではなくて、パートタイムを考えています。

清水(善)委員 三条市自体の持ち出しは無いということですが、原資は補助金や交付金を国からもらう形ですか。

坂田事務局長 収入につきましては、三条市からいくらか頂戴することになりますが、三条市には国から交付税措置をされるもの、その額だけで三条市からの持ち出しは無いものと考えています。

清水(善)委員 新しい機械とかを購入する場合はどうですか。

坂田事務局長 実際、今年度につきましては初期投資の部分で、全ての機械を入れているものではありませんので、三条市から、購入分は予算措置をしていただいている状況でありまして、ここから若干の年度にわたって必要となる部分は、三条市から負担していただくものとなります。

清水(善)委員 学生の市内、市外の割合はどうですか。

坂田事務局長 志願倍率は、一般選抜で前期日程が5.4倍、中期日程が31.3倍、全体で11.1倍です。域内、域外については、県内が35人、県外が47人、合計82人です。

清水(善)委員 産学連携について、学生のニーズを把握できる様にした方が良いでしょう。

勝見委員 収支計画の収益の部分、企業からの寄附は、直接大学が受けるのか、三条市が受

けるのか、三条市を通して受けるのか。税制に係ってくる。

坂田事務局長 今年度、既に大学に1件来ております。寄附につきましても、三条市に寄附することによって税制上メリットがありますが、どちらが良いでしょうかと寄附者に確認したところ、大学に希望されて受けております。

和田委員長 先程話題になっておりました、市が負担する国からの支援、いずれ学部が増えるとか、あるいは20年、30年経過し老朽化した建物を修繕するに当たってどうしても必要なものです。資産の運用について、プール資金はあるんですか。

坂田事務局長 最初に運営費交付金として動き出すためのお金はいただいております。それ以外は特段無いです。初年度、2年目にプールは難しいですが、数年後、黒字になったところからそういったものを準備しながら突発的な支出に対応していきたい。

和田委員長 カリキュラムについて、山口委員から指摘があった様に、例えば「何々系のマネジメント科目」と表現しても良いのではないかと。企業のニーズを把握するにはどうしますかというような具体的に表現すると後で評価しやすい。

シャハリアル学長 学生ニーズを把握できるようにしたほうが良いという意見につきまして、産学連携実習は1、2、3年と分けて、1年の時は産学連携実習ではなく、燕三条リテラシーという講義です。学生が自身の成長に合わせて段階的に企業を深掘りしていくカリキュラムになっています。徐々にテクノロジーを見る目を養い、企業のニーズ、自らのシーズについて考えるようになると思います。大学は運営委員会で企業のニーズを取り入れる仕組みを、学生は自らの目を取り入れる仕組みを作ればと思います。

和田委員長 その他御意見が無いようでしたら、この案でよろしいでしょうか。若干の修正は事務局にお任せするとして、公立大学法人三条市立大学中期計画（案）につきまして、（案）を取るということで、御承認願えますでしょうか。

～一同、異議なし～

(2) 役員に対する報酬及び退職手当支給基準について

坂田事務局長 （資料に基づき基準の内容を説明）

山口委員 資料2の手續について確認があります。「原則に照らして適切なものであるかどうかについて」照らす頻度は年毎に照らすのか、年毎に見直しみたいなものがあるのか、ずっとこのままなのか、照らす機会がいつなのか、どの辺で反映されるのですか。

坂田事務局長 変更するタイミングをどこに取るのかということです。

現段階では理事長の報酬につきましては、国家公務員特別職の給与表を参考に定めています。これは人事院勧告により変更される可能性がある。これが変更された時に、そのままで行くのか、変更するのか検討し、変更する場合にはこのような決定後に手續をすることになります。

和田委員長 人事院勧告は毎年あるものだが、大学は独立行政法人であるから、それを聞かなくても良いという姿勢もある。しかし、公立大学法人として三条市の後ろ盾があるのでそういうわけにもいかないでしょう。三条市の意見があると思う。毎年ありそうですがど

うお考えですか。

山口委員 人事院勧告の時に様子を見てどうするのか。

和田委員長 任期があるので、任期が切り替わる時に社会常識と比べてどうかと検討することもあり、流動的である。その他、何かありませんか。

報酬は日給、それとも年割ですか。

坂田事務局長 月給です。そのほかに他期末手当等があります。

和田委員長 月額を担当理事は一週間に何回も来るのか。

坂田事務局長 役員としては今ここに並んでいます。そのほかに地域連携キャリアセンターがあり、センター長が理事でいます。センター長は週2～3回来ていただいている外部の方です。

和田委員長 ちなみに一般職員の給与、教員職の給与はどうですか。

坂田事務局長 一般職は三条市、教員は長岡技術科学大学等の近隣大学を参考にしました。

和田委員長 それでは、公立大学法人三条市立大学役員報酬規則(案)について、(案)を取るということによろしいでしょうか。

～一同、異議なし～

(3) その他

和田委員長 学生の男女比率はどうですか。

坂田事務局長 82人中、女性は7人です。